

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	彩都の丘学園	階数	地上4F
建設地	大阪府箕面市	構造	RC造
用途地域	第二中高層住居専用地域、指定なし	平均居住人員	2,600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	22,950 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年12月25日
敷地面積	34,300 m ²	作成者	共同設計株式会社 大河内
建築面積	2,798 m ²	確認日	2017年12月25日
延床面積	8,494 m ²	確認者	共同設計株式会社 稲田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 87%</p> <p>③上記+②以外の 87%</p> <p>④上記+ 87%</p> <p>46 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>小中一貫校として9年間の学習・生活を支える場、地域交流、災害時の避難場所として、機能性、安全性、耐久性、経済性、意匠性、環境保全の特性を持たせた施設となっている。特に子供たちの多様な活動のできる高機能かつ多機能な空間づくり、子供たち安全安心な学校としての防犯環境等、これらを視覚的にわかりやすくしながら、景観に配慮し地域のシンボルとなるデザインとなっている既存建物に踏襲した増築建物としている。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>教室間の騒音対策として、間仕切りは遮音性能を持たせ、天井は吸音効果のある材料を選定している。省エネルギー対策として外壁断熱、バルコニーを設置している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>水廻りの仕上げ材は防汚性のある壁、床材を選定している。耐震性は、建築基準法の1.2倍持たせている。躯体が少なく将来変更に対応しやすくなっている。材料は、メンテナンスフリーの耐用年数の高いものを選定している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>箕面市景観計画 彩都粟生都市景観形成地区であり、建物の色調、デザインから地域の修景形成に至るまで、アドバイザー会議にて議論され承認された既存の計画を踏襲している。舗装面を少なくし温熱環境にも配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>居室外壁面に断熱、空調、換気設備は搬送動力の軽減、環境配慮型器具の選定等、省エネルギー対策に取り組んでいる。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>衛生器具の省エネルギーシステム(節水型便器、自動水栓、擬音装置等)を取り入れている。可能な範囲でリサイクル材を使用する計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>設備の高効率化のものを選定することにより一次エネルギー消費量を低減し、地球温暖化への配慮をした計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0132

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	彩都の丘学園					
		建設地	箕面市彩都粟生北2丁目1-5					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								